

きいて・めもして・こたえよう

ぼうさい倉庫の けんがく
見学

なまえ
名前

きこめあて ぼうさい倉庫にある「もの」と、その「使い方」を、しゅるいごと
にメモしましょう。

ことば そうご すうじ つか かた
おとさない言葉：もの・数字・使い方

ほうそう
放送が終わったら、ひら
開いて問題にこた
えましょう。

(1) ぼうさい倉庫には、どんなときに使うものがしまっていますか。

(2) 水は、一人が一日にどれくらいいると言っていましたか。

(3) ぼうさい倉庫にあるものとして、話に出てなかったものはどれですか。○をつけましょう。

ア かんパンやアルファ米

イ だんボールのトイレ

ウ テレビやゲーム

(4) ぼうさい倉庫について、聞いてみたいことを、一つ「しつものの文」で書きましょう。

すすめ方

- ① 中央の点線で山折りにして、「めも」の面だけを表にする（問題を先に見せない）。
- ② この放送文を先生が読む（または用意した音声流す）。読む回数：2回。聞きながらメモを取らせる。
- ③ 放送が終わったらプリントを開き、メモを見ながら問題に答えさせる。

放送文

今日は、学校のとなりにある「ぼうさい倉庫」を見学します。ここには、大きな地しんや台風のときに使うものが、たくさんしまっています。どんなものがあるか、メモしながら見ましょう。

まず、食べ物と水です。かんパンやアルファ米など、長い間ほぞんでできる食べ物が、箱に入れて積んでいます。水は、一人が一日に三リットルいるといわれています。

つぎに、生活のための道具です。だんボールでできたかんたんトイレや、体を温めるもうふ、けがの手当てに使う薬などがあります。夜に使うための、電池で光るライトもあります。

これらのものは、ふだんは使いません。でも、いざというときに、みんなの命を守る大切なものです。使い方をおぼえておくと、いざというとき役に立ちますね。

メモのれい

ぼうさい倉庫の見学（地しん・台風にそなえる）

食べ物・水：かんパン・アルファ米（ほぞん）／水は一人一日三リットル

道具：だんボールトイレ・もうふ・薬・電池ライト

ふだん使わない→命を守る大切なもの

こたえと かいせつ

（1）大きな地しんや台風するとき

「大きな地しんや台風のときに使うものが、たくさんしまっています」の部分です。

（2）三リットル

「水は、一人が一日に三リットルいる」と言っていました。数字は落とさずにメモします。

（3）ウ（テレビやゲーム）

食べ物・水、だんボールのトイレ、もうふ、薬、ライトは出てきましたが、テレビやゲームは出てきません。

（4）（例）水や食べ物は、何人分ありますか。／だれが用意しているのですか。

ぼうさい倉庫に関する「たずねる文（～ですか。）」になっていれば正解です。